

2025 年度事業計画書

I. 2025 年度事業方針

世代を超えた食文化研究の永続的な発展と、食文化の普及啓発へのさらなる貢献を目指す。
食文化研究者の発掘・育成と研究・交流の場の継続的提供により、研究の更なる発展・拡大を図り、
成果・知見の外部への体系的発信を通じて、食文化への関心を喚起し、理解を深める。

II. 2025 年度事業計画

【年度計画骨子】

前年度リニューアルにて創出した空間を活用した食の文化ライブラリーの運営を新たな軸とし、財団活動の発信拠点とするとともに、各事業活動の連携と SNS 連動を通じて浸透力の強化を図る。食文化展示室における企画展示、食の文化フォーラム、食の文化研究助成、食の文化シンポジウム、食文化誌『vesta』刊行等の着実な実施を通じて、幅広い層に食文化の魅力を広める。

1. 食の文化フォーラム

- ① 2025 年度 年間テーマ:「宴のいろいろ(仮)」
コーディネーター:上野 誠 氏(國學院大學)
総合司会:野林 厚志 氏(国立民族学博物館)
- ② 2024 年度フォーラム「食の欲望論」を基とした書籍の出版を通じ、学際的討論の場であるフォーラムの成果と活動意義を広く世に伝える。
- ③ 食文化研究の発展を担う次世代が参加する場を積極的に創出し、フォーラムの進展を図る。

2. 食の文化シンポジウム・公開講座

- ① 食の文化シンポジウム(時期未定:2026 年 1 月～3 月頃)
2024 年度フォーラム「食の欲望論」をベースに、複数分野の登壇者を迎えて多角的に食を論じ、食文化研究の成果と魅力を伝えるシンポジウムを開催する。
- ② 共催シンポジウム(時期未定:2025 年 10 月～12 月頃)
人間文化研究機構との共催シンポジウム(第 9 回)を開催、Web 配信も併用し広く発信する。
- ③ 新・公開講座
探究活動を行う中学・高校生を主な対象に、食文化への関心を高めるプログラムを充実させる。

3. 食の文化研究助成

- ① より幅広い学問分野からの応募者を募るため、研究助成システムを活用するとともに、関連学会、大学への周知を行い、食文化研究の裾野の拡大を図る。
- ② 若手研究者の相互交流を促進し、さらなる活躍ができるよう支援することによって、食文化研究者の増加および研究の拡がりを後押しし、継続的な取り組みとなるように推進する。

4. 食の文化ライブラリー

- ① 公開図書館
2024 年度リニューアルによって創出した空間を活用し、財団活動の発信拠点となるとともに、利用者の利便性が高く、食文化に親しみやすい拠点づくりを行う。

② 公開展示・所蔵資産の活用

所蔵する「大日本物産図会」を活用した企画展示「『大日本物産図会』にみる「食」「時代」「人々」の第2回を開催(2025年8月～9月頃)、展示に関連した公開講座を開催する。

5. 食の文化誌『vesta』

① 2025年度『vesta』出版

138号特集「日本酒の魅力(仮)」岸 保行氏(新潟大学)(2025/4)

139号特集「ガストロノミーの変遷と未来(仮)」山内 秀文氏(辻静雄料理教育研究所)
(2025/7)

140号特集「きのこの食文化(仮)」山田 明義氏(信州大学)(2025/10)

141号特集「ジビエの世界(仮)」検討中(2026/1)

② 普及推進

映像「みる vestaー食文化の世界ー」、および『vesta』執筆者による公開講座「聴く vesta」の継続を通じ、『vesta』特集エッセンスと、誌面をさらに掘り下げて知ることができる機会を創出する。また、個人向けデジタル版(Kindle、auブックパス、楽天マガジン等)に加え、電子図書館向けのコンテンツ導入、およびSNS等と連動した電子版の購読推進を通じ、より広い読者を開拓する。

6. 食の文化ウェブ・情報発信・コミュニケーション

① ウェブサイト

サーバー老朽化による移設対応を実施し、さらなるサイト充実化を図るとともに、より多くの訪問者が得られるようSEO対策を継続する。SNSと連動した発信を通じ、当財団の活動をよりわかりやすく伝え、食文化の魅力を追求できるサイトを目指す。

② 情報発信・コミュニケーション

ウェブサイト、メールマガジン、Facebook、Instagram、YouTube等を通じた継続的な情報提供を行い、新たな層への関心を喚起するとともに、食文化への知的好奇心を高め、関心をもった人々が財団を通じて得る情報や知識に満足し、再訪しつづけられるように財団活動・発信内容を進化させる。

Ⅲ. 事業別予算

テーマ (金額: 百万円)		2024年度予算	2024年度見込	2025年度予算	概要
a)	食の文化フォーラム	17.0	17.0	17.0	学際的討論の場であるフォーラムのさらなる活性化を図り、今後を担う若手の参加を促進するとともに、成果書籍の出版を継続実施する
b)	食の文化シンポジウム	7.8	7.8	7.8	食の文化フォーラムと連動した単独シンポジウム、人間文化研究機構との共催シンポジウムを継続実施する
c)	食の文化研究助成	16.0	18.4	16.0	より幅広い応募者を募るための研究助成システム等の活用、さらに若手研究者の活躍推進を通じ、食文化研究の裾野拡大を図る
d)	食の文化ライブラリー	22.0	22.0	22.0	2024年度リニューアルにより創出した空間を活用したライブラリー運営と発信、および企画展示を実施する
	ライブラリーリニューアル	45.0	41.4		
e)	食の文化誌『vesta』	23.0	23.0	23.0	SNS等と連動した電子版の購読推進に加え、映像「みる vesta」、公開講座「きく vesta」との連動を通じて読者増を図る
f)	食の文化Web	19.0	17.0	22.0	サーバー老朽化による移設対応を実施し、さらなるサイト充実化を図るとともに、SNSの活用を継続する
	事業共通	7.0	7.0	7.0	公益財団法人としての共通基盤を充実させ、対外的なコミュニケーションを向上させる
合計		156.8	153.6	114.8	

以上